

防災学習④ 堤防が決壊した時のことを、常に考

決壊すると、あっというまに広がる洪水

■河川の決壊に対し、危機意識を持ちましょう

河川の決壊箇所によっては、決壊直後に洪水が到達する場合があります。決壊直後の洪水は流速（水が流れる速さ）が速く、一気に流れ込んできます。過去の実例では、家屋の倒壊や車両の流失が発生しています。

堤防が決壊してからでは安全に避難場所や避難所に避難することは難しいため、決壊前に避難できるよう、区民のみなさん一人一人が危機意識を持つことが大切です。

現在、想定されている江戸川区近くの決壊箇所は、以下のとおりです。

決壊直後0時間～3時間程度で洪水が発生する地区



逃げ遅れる事がないよう、公共機関が発表する情報に注意して下さい。

また、P5に記載している「日ごろから水害に備えましょう」を参考に、事前準備を心がけましょう。各河川管理者のホームページに、決壊箇所ごとの洪水の発生の仕方が公開されていますので、ご確認ください。

遠く離れた所から浸入してくる洪水

■埼玉県で発生した洪水が江戸川区まで流れてきます

左のページに示している地区と同様に、こちらの地区の場合も江戸川区近くの決壊箇所もありますが、埼玉県など遠く離れた決壊箇所の水が、流れ込んでくる場合もあります。

この場合、決壊直後には洪水は発生しませんが、時間をかけて(最大決壊3日後)流れてきます。そのため、江戸川区で晴れていても、川の上流で大量の降雨があった場合、洪水の危険性があることを認識しておきましょう。

現在、想定されている江戸川区に影響するの決壊箇所は、以下のとおりです。

決壊後0時間～72時間程度で洪水が発生する地区



身近な場所の気象や川の状況だけではなく、上流(川が流れてくる方向)の気象・状況についても、注意して下さい。また、防災学習や情報収集に努めましょう。

各河川管理者のホームページに、決壊箇所ごとの洪水の発生の仕方が公開されていますので、ご確認ください。